THE SHINKANSEN MAIL NEWS
JR東日本輸送サービス労働組合 新幹線地方本部
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2026,10,30 No. 006

申2号

2026年3月ダイヤ改正検証に関する申し入れ

10月29日 提出!

申し入れ項目

要員不足による時間外労働や休日出勤の増加、車両故障の多発等の問題を改善し、安全で働きやすい職場の実現を図るために

【乗務員共通】

1．業務に必要な要員を確保し、超過勤務や休日出勤が発生しない体制とすること。
2．ホーム乗継箇所近くに、乗継詰所を設置すること。
3．全乗務員が万が一の時に使用出来る規定類等が収納されている予備のタブレットを当直業務がある全箇所に設置すること。
4．「新幹線区間の回送列車における車掌及び運転士の降車確認」の取り扱いについて、再度乗務員からの声を元に運用の改善を図ること。

【運転士関係】

1．小山運庫線入区時の運転時分を1分増加させること。
2．仙台駅東京方での自動防止の取り扱いを行う際の通路が雨等で水没しないよう改善を図ること。

【乗務員設備】

1．小山駅および白石蔵王駅上りホーム17号車で車掌が乗降扱いを行う際、発車メロディーが全く聞こえないため、早急に対策を講じること。
2．各車両センター着発線の停止位置目標が見えづらいため、視認性を高める対策を講じること。
3．各宿泊地の休憩室には冷蔵庫が設置されているが、小山新幹線車両にだけ設置されていないため他宿泊地と同様に休憩室に冷蔵庫を設置すること。
4．仙台駅下りホーム盛岡方詰所に女性用トイレがないため女性用トイレを設置すること。
5．小山新幹線車両及び盛岡新幹線車両庁舎は現行エレベーターが未設置であり、4階寝室までの階段による歩行が身体的負担増となることから、エレベーターを設置すること。

【東京新幹線乗務・共通】

1．効率的な運用とするため、車掌・運転士の定期行路数をさらに増加させること。
2．食事を目的とした乗務の中断の拡大を行い、運転士は最低60分、車掌は最低80分を確保すること。特に、運転士についてはB112・B211・B214、車掌についてはC1101・C1111において、上記の時間を確保すること。

【東京新幹線乗務・車掌】

1．技術力の維持向上ならびに安全・安定輸送確保のため、以下の内容を反映した行路設定を行うこと。
①東京～福島間でのつばさ担当行路の設定
②長野統括センター泊りの行路設定

【東京新幹線乗務・運転士】

1．総体の睡眠を目的とした乗務の中断時間を拡大するため、B115の223Bを仙総所まで担当させ、B118を69B仙台まで担当の後そのまま仙台新幹線乗務泊りに変更すること。さらに、仙台新幹線乗務泊りとなる行路の明け 208B乗務終了後に、B214にある行路内企画業務の時間を設定すること。
2．仙台～盛岡間の担当分散や乗務の中断時間の平準化、徒歩での移動距離短縮のため、B117は213B仙台まで担当の後B120の3037B仙台からの乗務へ変更し、B120は3034B仙台まで担当の後、B117の68B仙台からの乗務に変更すること。
3．B601について、568Eを566Eへ担当を変更すること。
4．B611について、651Bを外した行路設定とすること。
5．111行路について、始業時刻8時33分より小山運入区まで1日目の業務負担が他の行路と比べて大きいため業務を平準化すること。

【東京新幹線車両】

1．業務に必要な要員を確保し、超過勤務や休日出勤が発生しない体制とすること。
2．荷物専用新幹線の荷物輸送について、稼働率を明らかにし今後の展望を示すこと。
3．繁忙期において日常清掃から簡易清掃への変更を試験的に行っているが、サービスレベル維持のために日常清掃を行える体制を整えること。
4．主変換装置の故障が多発しているため早急に対策を行うこと。
5．G編成において連絡電話の呼び出し音が鳴動し続ける事象が発生しているため早急に対策を行うこと。
6．新幹線車両で使用されている蛍光灯について在庫が枯渇状態にあるため早急にLED化工事を実施し、サービスレベルが低下しないようにすること。